

慰 霊

疫病終息祈願

丑寅まつり

第八十四回 会津柳津

みたま

霊まつり

灯ろう流し

霊まつりは毎年八月十日に

霊を安らかに

慰める行事として

厳かに営まれています。

今年度は花火大会と稚児行列をとりやめ、

疫病終息を祈願し、<sup>みたま</sup>霊安らかにと

灯ろう流しを行います。

《8月10日の流れ》

疫病終息祈願ご祈禱  
大法要(施餓鬼会)  
魚淵にて読経・流灯  
灯ろう流し  
梵鐘・黙禱

※花火大会・稚児行列は中止します。

また、【マイ灯ろう】の受付いたしております。詳しくは、事務局までお問合せ下さい。

今年度の霊まつりは、一連の行事を関係者のみで  
厳粛に執り行わせていただきます。  
皆様がそれぞれご自宅にて手を合わせることで  
ご供養の心はご先祖様へ届きます。

〈お問い合わせ〉 霊まつり流灯花火大会実行委員会(柳津観光協会内)  
福島県河沼郡柳津町大字柳津寺家町甲176-3

8月10日

☎ 0241-42-2346 <http://aizu-yanaizu.com>  
FAX 0241-42-2442



赤べこは災を祓ふの地

霊まつり流灯花火大会は、84年の歴史を有し毎年8月10日に福満虚空蔵菩薩圓藏寺に於いて大法要（施餓鬼会）で霊の供養を行い、稚児行列によって運ばれた灯ろうを只見川に流す一連の行事の後に、500基の灯ろう流しと共に4500発の花火を打上げる行事です。今年は新型コロナ感染拡大防止の観点から花火大会は自粛をし、12年に一度の「丑寅まつり」のもと「第84回霊まつり灯ろう流し」として霊の供養・新型コロナ終息祈願を厳粛に行うこととしました。また、今年と来年の2年間は、「丑寅まつり記念」と題し、12年に一度の丑寅まつり記念事業として実施いたします。つきましては、本主旨ご理解の上ご協賛賜りますようお願い致します。

## 第 84 回霊まつり 灯ろう流し の主旨に賛同し

金 

|  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|

 , 

|  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|

 , 

|  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|

 円 を協賛します。

ご記入日/令和 3 年 月 日

|                                                                    |                                                                                                                                                                   |       |  |
|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--|
| ふ り が な                                                            |                                                                                                                                                                   |       |  |
| 霊位記名<br><small>例：〇〇家先祖代々の霊位<br/>〇〇院〇〇居士霊位<br/>及び故人へのメッセージ等</small> |                                                                                                                                                                   |       |  |
| ご 芳 名                                                              |                                                                                                                                                                   |       |  |
| ご 住 所                                                              | 〒                                                                                                                                                                 |       |  |
| 電話・FAX 番号                                                          | T E L : (        )<br>F A X : (        )                                                                                                                          | ご担当者名 |  |
| ご 協 賛 方 法                                                          | 例年ですと、お伺いとお振込のいずれかの方法でご協賛を頂いておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、皆様にお振込用紙を同封させていただきます。本紙申込書をFAXしていただき、お振込にてご協賛下さいますようお願い申し上げます。<br><b>F A X    0241-42-2442（柳津観光協会内）</b> |       |  |
| 締 切 日                                                              | 6月30日(水)までご返信・お振込願います。                                                                                                                                            |       |  |

### 《ご協賛された方への対応》

- ☆1口1万円以上ご協賛の方には、第84回は水塔婆に霊位名を記入して圓藏寺にてご供養のあと流灯、及びご協賛一覧掲載チラシの送付。
- ☆1口3万円以上の方には上の記述、及びご祈祷御礼・記念品の送付。

.....  
【お問合せ先】 霊まつり流灯花火大会実行委員会事務局：柳津観光協会内  
〒969-7201 福島県河沼郡柳津町寺家町甲 176-3      T E L   0241-42-2346 / F A X   0241-42-2442  
事務処理欄

| 受付月日 | 担当者 | I | II | III |
|------|-----|---|----|-----|
|      |     |   |    |     |

.....  
**【赤べこ】と【疫病終息祈願】について**

- ・赤べこの斑点：赤べこ張子の斑点は疱瘡を表したもので、子供たちが疱瘡にかからないようにと描かれました。
- ・赤べこの赤色：その昔、赤い色は病魔を払うというように考えられており、江戸時代になると、病気を引き起こす疱瘡は赤色を好むことから赤で神をもてなし、病気を軽く済ませてもらう俗に「赤もの」として病人の病を背負うと信じられてきました。
- ・赤べこ伝説：その昔、会津地方を襲った大地震で圓藏寺やありとあらゆる建物が崩壊しました。その後、本堂再建の際に大きな木材を巖上に運ぶのに人々が困り果てていたところ、どこからともなく赤毛の牛の群れが現れ再建を手伝いました。おかげで見事にお堂を建てることができましたが、赤毛の牛たちはその完成を待たずして姿を消してしまいました。人々は赤毛の牛たちに感謝の気持ちを表し「赤べこ」として大切にし、忍耐と力強さの象徴、そして福を運ぶべことして親しまれ、柳津町は赤べこ伝説発祥の地となりました。

赤べこは疱瘡除けの玩具として伝えられています。  
疱瘡（天然痘）は人類が初めて撲滅に成功した感染症です。  
知恵と技術を集結し、協力し合うことで、必ず困難は乗り越えられるでしょう。

